ふくしまの今が分かる新聞

vol.116

故郷とあなたをつなぐ情報紙

「ふくしまの今が分かる新聞」では、県内外に避難されている皆さまや
被災者・避難者支援に携わる多くの方々へ、避難者支援の取組や福島の復興に向けた動きなど、
「ふくしまの今」が分かる情報をお届けします。

発行
令和8年9月17日㈭

特集

12市町村「イベント情報」

PICKUP VIEW

十日市祭

浪江町

150年以上の伝統を誇る浪江町の「十日市祭」。昨年、15年ぶりに新町通りで開催され、約3.5万人が来場し大いに賑わいました! 右上の写真は、世界で注目を集める「ヘラルボニー」が手掛けた屋外アートで、新町通りに展示されています。

特集 12市町村

「イベント情報」

今回は12市町村のイベント情報を紹介！
どなたでも町ならではのイベントに参加いただけます。

2026年

9/19	広野町	広野スタイル 2026 広野町政策企画課　☎ 0240-27-1251
9/27	田村市	あぶくま洞秋まつり あぶくま洞　☎ 0247-78-2125
10/8～15 （予備日：10/16）	南相馬市	第 60 回全日本サーフィン選手権大会 日本サーフィン連盟　☎ 03-6434-7341
10/18	南相馬市	野馬追振興秋季競馬大会 相馬野馬追　☎ 0244-22-3064
10/31	大熊町	ふるさとまつり 大熊町観光協会　☎ 0240-23-7101 大熊町企画調整課　☎ 0240-23-7586
10/31～11/1	広野町	ひろの秋祭り 広野町生涯学習課　☎ 0240-27-3244
11/1	川内村	第12回かわうち祭り -秋の陣- 川内村観光協会　☎ 0240-38-2346
11/3	南相馬市	あきいち あきいち実行委員会　☎ 0244-24-1150
11/7	楢葉町	農福フェス 2026 楢葉町農林水産課　☎ 0240-23-6104
12月	浪江町	請戸魚市 浪江町農林水産課　☎ 0240-34-0246
12/13	広野町　楢葉町	Ｊヴィレッジハーフマラソン大会 Ｊヴィレッジマラソン実行委員会　☎ 0240-26-0111
12/20	大熊町	おおくま駅伝 大熊町生涯学習課　☎ 0240-23-7518

2027年

1/9	大熊町	里がえりもちつき大会 おおくまコミュニティづくり実行委員会事務局 ☎ 0240-23-7101
1/9～10	双葉町	双葉町ダルマ市 双葉町復興推進課　☎ 0240-33-0127
4月上旬	富岡町	夜の森桜まつり 2027 富岡町地域創生課　☎ 0240-22-2111
5月	浪江町	標葉郷野馬追祭 標葉郷野馬追祭実行委員会 / 浪江町商工会 ☎ 0240-35-3321
5月GW 最初の土日	川俣町	川俣シャモまつり 川俣町政策推進課　☎ 024-566-2111
7月	楢葉町	楢葉町サマーフェスティバル 楢葉町サマーフェスティバル実行委員会　☎ 0240-23-6105
7月下旬	富岡町	富岡駅前にぎわいフェス 富岡駅前フェス実行委員会
7月下旬	飯舘村	はやま湖まつり 飯舘村産業振興課　☎ 0244-42-1620
7～8月	田村市	ムシムシランドカブトムシドームオープン ムシムシランド　☎ 0247-77-4097
7～8月	浪江町	請戸海水浴場海開き 浪江町観光移住課　☎ 0240-34-0247
8月中旬	田村市	灯籠流しと花火大会 田村市観光協会船引支部　☎ 0247-73-8830
8/15	富岡町	麓山の火祭り 富岡町生涯学習課　☎ 0240-22-2626

田村市　ABUKUMAうんめぇFES

農産物や特産品を味わえるキッチンカーやマルシェが集結するほか、ステージ企画もあり、田村市の「うんめぇ」魅力がいっぱい詰まったイベントです。

時 10/12　所 あぶくま洞（田村市滝根町菅谷字東釜山1）
問 田村市企画調整課　☎0247-61-7615

南相馬市　北泉サーフフェスティバル

2023年に始まった「KITAIZUMI SURF FESTIVAL」は、サーフィンを通じて福島復興と地域活性化を目指し、環境活動や文化発信も行うビーチイベントです。

時 10/2 ～ 4　所 南相馬市北泉海岸
問 サーフパラダイス実行委員会　☎090-7567-7373

川俣町　コスキン・エン・ハポン

国内最大規模の中南米音楽祭として、多くのフォルクローレファンが集うイベント。会場周辺では中南米の民芸品や、川俣町の特産品などを扱う出店も並びます。

時 10/10 ～ 12　所 川俣町中央公民館（川俣町字樋ノ口11）
問 川俣町生涯学習課　☎024-565-2434

広野町　第29回ひろの童謡まつり

「童謡のまち・ひろの」を代表する音楽イベント。プロ歌手や地域の子どもたちによる心温まる歌声が響き、世代を超えて童謡の魅力が楽しめます。

時 10/17　所 広野中央体育館（広野町中央台１丁目1）
問 広野町政策企画課　☎0240-27-1251

楢葉町　ならは町秋空散策あるこう会

天神岬スポーツ公園をメイン会場に開催されるウォーキングイベント。楢葉の秋を感じながら、観光スポットを巡り、ゴールでは地元グルメが味わえます。

時 10/31　所 天神岬スポーツ公園（楢葉町北田字天神原27-29）
問 楢葉町秋空散策あるこう会実行委員会　☎0240-23-6105

双葉町　ふたばフードフェス2026

県内外の人気店が多数集結するフードイベント。グルメだけでなくステージイベントも盛りだくさんです。ぜひ「ふたばフードフェス」へお越しください！

時 10/3～4　所 双葉町産業交流センター（双葉町中野字高田1-1）周辺
問 双葉町復興推進課　☎0240-33-0127

富岡町　富岡秋まつり2026

町伝統の「富岡えびす講市」と「福祉まつり」を同時開催。楽しいステージイベントが開催されるほか、多くのブースやキッチンカー、屋台が会場を埋め尽くします。

時 11/ 7　所 富岡町文化交流センター「学びの森」（富岡町本岡字王塚622-1）　問 富岡町商工会　☎0240-22-3307

浪江町　浪江町十日市祭2026

明治時代から続く浪江町最大の秋の風物詩。震災後も守り継がれ、昨年本来の新町通りで見事復活！通りを埋め尽くす露店やステージイベントなど、楽しい企画が盛りだくさんです。

時 11/21～22　所 浪江町権現堂字新町地内
問 浪江町十日市運営委員会/浪江町商工会　☎0240-35-3321

川内村　第11回川内の郷かえるマラソン大会

「かえるマラソン」は今年で第11回目を迎えます。黄金色に輝く田んぼと大自然の山々を眺めながら、みんなで一緒に川内高原を走りましょう！

時 9/20　所 旧川内中学校（川内村下川内字宮渡29）
問 かわうちラボ　☎0240-23-7040

葛尾村　かつらお恵みの感謝祭

感謝祭名物のおおなべ豚汁は必見！手打ち新そばや屋台も多く立ち並びます。ステージイベントはキャラクターショーや歌謡ショーなど盛りだくさんです。

時 11/3　所 みどりの里広場（葛尾村落合字菅ノ又6-1）
問 葛尾村総務課　☎0240-29-2111

大熊町　おおくま学園祭

2023年から開催されている復興交流イベント。特設ステージでの音楽イベントのほか、県内外の飲食を堪能できるコーナーもあります。

時 3/13　所 大熊インキュベーションセンター（大熊町下野上字清水230）
問 大熊インキュベーションセンター　☎0240-23-7721
　大熊町企画調整課　☎0240-23-7586

飯舘村　いいたて村文化祭/いいたて秋まつり

同日開催される秋のイベント。村内の個人・団体が製作している文化作品の展示や、村内事業者による出店、各種ステージイベントなどが楽しめます。
（作品展示期間：10/22～28）

時 10/25　所 交流センター「ふれ愛館」（飯舘村草野字大師堂17）
問（文化祭）飯舘村生涯学習課　☎0244-42-0072
　（秋まつり）飯舘村産業振興課　☎0244-42-1620

「ふたばワールド2026 in ならは」を開催します！

地元伝統芸能をはじめ、有名人による歌やお笑いのステージ、ならはの魅力を詰め込んだ大鍋のふるまいや、地元産品が並ぶふるさとマルシェなど、ふたばをまるごと楽しめるイベントを多数用意しています。

日　時　10月24日(土) 10:00～15:30

会　場　楢葉町（楢葉町総合グラウンド）

問い合わせ　ふたばワールド2026運営事務局
☎024-926-1253

前回開催の様子

企画展「サンマの学校」を開催中です！

2027年1月11日までサンマをテーマにした企画展を開催中です。アクアマリンふくしまが開館以来、研究・展示を続けてきたサンマにスポットを当てた企画展です。生態はもちろん、歴史や最新研究まで、サンマについて楽しく学ぶことができます。会場では、顕微鏡でサンマのエサとなる生き物を観察したり、骨のつくりや卵から成長する様子を映像で学んだりできるコーナーを設置しています。

問い合わせ　アクアマリンふくしま
☎0246-73-2525

公式サイト

「ふるさとの祭り2026」を開催します！

民俗芸能の祭典「ふるさとの祭り」を開催します。福島県の民俗芸能の復興を目的としたイベントであり、主に浜通りの団体が踊りや舞を一挙に披露する、年に一度の貴重な公演です。

日　時　11月7日(土) 14:00～17:00
11月8日(日) 10:00～17:00

入場無料

会　場　いわき芸術文化交流館アリオス
セキショウ中劇場

問い合わせ　福島県文化振興課
☎024-521-7154

ホームページ

消費生活無料法律相談等を実施します

県消費生活センターでは、借金・多重債務問題や震災に関連した契約トラブルなど様々な消費生活相談に対応するため、専門家やFP（ファイナンシャルプランナー）による相談を実施しています。相談は無料ですが、事前予約が必要です。まずは、お電話ください。

問い合わせ　福島県消費生活センター
☎024-521-0999（相談専用電話）

※はじめに「ふくしまの今が分かる新聞」を見たとお伝えください。なお、現在、県外にお住まいの方は、避難前の居住地を伺う場合があります。

詳しくはこちら

県外への避難者を支援「生活再建支援拠点」

県外へ避難されている方の相談対応や本県の支援策に関する情報提供、交流会の開催等を行う拠点を全国22か所に設置しています。今回は、愛媛・鳥取に設置している拠点を紹介します。

22か所すべての拠点の連絡先等情報は、コチラから
ふくしま連携復興センターHP

愛媛県　特定非営利活動法人 えひめ311

〒790-0871　愛媛県松山市東一万町2 第3森ビル1階 協働オフィス内
TEL 070-5515-2217
メール ehime311@yahoo.co.jp
相談日時　月～金 10:00～15:00

私たちは、当事者支援団体です。各地で災害が起こるたびに思い出すあの日のこと。「だれかと話したいな…」と思ったらぜひご連絡ください。個人情報・秘密は守ります。安心してお問い合わせください。

鳥取県　特定非営利活動法人 とっとり災害支援連絡協議会

〒680-0051　鳥取県鳥取市若桜町31 カナイビル1階
TEL 0857-22-7877 / 090-8064-9630
メール support@tottori-shien.org
相談日時　月～金（祝日を除く）10:00～17:00

事務所内にはちょっと一息スペースを準備しています。涼み処として利用もできます。もちろん相談も。ご希望があればおつなぎします。一人で抱えず、気になること、福島のこともシェアしましょう。

文部科学省 原発事故の賠償請求

東京電力とは別の中立・公正な国の組織が、話し合いによる解決の仲介をします。賠償請求に関して気になることがあれば、ADRセンターの和解仲介手続をご利用ください。

- 手続きは無料です
- 申立ては簡単です
- 申立て時に資料等がなくても大丈夫です

詳しくはこちら

問い合わせ 文部科学省 原子力損害賠償紛争解決センター（ADRセンター） 0120-377-155

NDF 原子力損害賠償の夜間相談

毎月第3木曜日に夜間弁護士相談を実施しています。**相談時間は17:00～20:00（【1組1時間】17:00～／18:00～／19:00～）**です。対面の他、電話・WEBでも相談できます。今後の実施予定日は、次のとおりです。

10月15日、11月19日、12月17日

問い合わせ ☎0120-013-814
（平日10:00～13:00、14:00～17:00）

NDF 原子力損害賠償・廃炉等支援機構
Nuclear Damage Compensation and Decommissioning Facilitation Corporation

デジサポ福島 テレビ受信等の相談を行っています

帰還者のテレビ受信相談等の支援を行う「デジサポ福島」において受信相談を行っています。

受付時間 9:00～16:00
（除く土日祝日・年末年始休業日）

問い合わせ デジサポ福島
☎022-393-9779

ホームページ

県外避難する高校生の就職支援

福島県出身者で、現在県外に避難している高校生のうち、高校卒業を機に福島県内の企業へ就職を希望する生徒に対して、県内の各高校に配置した進路アドバイザーが、就職を希望する地区の企業求人情報を提供します。

求人情報の提供を希望する生徒は、現在通っている高校の進路指導担当（またはクラス担任）の先生を通して、相談窓口にお問い合わせください。その際、「現在通学している学校名」「学校の連絡先」「就職を希望する地区」「希望する業種や職種」「帰還予定時期」などをご連絡ください。各地区の進路アドバイザーが、希望に即した企業の求人情報を送付します。

問い合わせ 〔事業に関する問い合わせ〕
福島県教育庁高校教育課 ☎024-521-7773

問い合わせ 〔相談窓口〕（株）福島人材派遣センター
進路アドバイザー係 ☎024-521-5111

東京電力 追加賠償のご請求手続きのお願い

2023年4月から「中間指針第五次追補等を踏まえた追加賠償」のご請求を受け付けております。お手元にご請求書が届いていない場合やご請求書の記載方法がご不明な場合は、電話や訪問によるご相談・ご請求書作成のお手伝いも承っておりますので、以下お問い合わせ先までご連絡ください。

受付時間 9:00～19:00（月～金［除く休祝日］）
9:00～17:00（土・日・休祝日）

問い合わせ 東京電力ホールディングス株式会社
福島原子力補償相談室 ☎0120-926-470

福島12市町村空き家どうする大会議を開催しました

8月22日にいわき市にて福島12市町村の空き家・空き地所有者向けセミナー・相談会を開催しました。

次回は、個別相談を中心とした地域型セミナー・相談会を、10月以降田村市、南相馬市、富岡町で開催します。また、オンラインや電話での空き家相談窓口も開設中です。詳しくはホームページからご確認ください。

問い合わせ
空き家どうする大会議運営事務局
（株式会社クラッソーネ） ☎052-589-8085

ホームページ

避難者住宅確保・移転サポート事業

県では、新たな住まいの確保を希望する避難世帯を支援するため、「避難者住宅確保・移転サポート事業」を実施しています。ご自身で住宅を見つけられずお困りの方に、物件探しや契約時の書類作成などの支援を行い、生活再建を後押しします。また、生活再建後に発生した住宅確保についても、同様にご相談を受け付けています。

問い合わせ 福島県避難者生活支援課 ☎024-521-6933

詳しくはこちら

第4回福島県復興公営住宅の募集

募集期間 令和8年10月1日（木）～7日（水）

入居時期 令和8年12月以降（詳細は各管理室まで）

対象者
- 避難指示区域等から避難されている方
- 平成23年3月11日時点で、避難指示が解除された区域に居住していた方
- 東日本大震災の地震・津波被災者
- 平成23年3月11日時点で中通り、浜通りに居住していた方
- 県営住宅の入居資格を備えている方

問い合わせ先はこちら

ふくしま浜通りサイクルルート「浜サイ」が東北地方初のナショナルサイクルルートに指定されました！

7月23日、ふくしま浜通りサイクルルート「浜サイ」が、東北地方で初めてナショナルサイクルルート（NCR）に指定されました。

【ナショナルサイクルルート（NCR）とは？】

ナショナルサイクルルートは、日本を代表し、世界に誇るサイクリングルートとして、走行環境や受入環境、ルート沿線の魅力発信などの厳しい要件を満たしたルートを国が指定する制度です。

自転車愛好家はもとより、子どもからお年寄りまで、幅広い世代の方が安心・安全にサイクリングを楽しむことができるルートです。

【「浜サイ」ってどんなルート？】

ふくしま浜通りサイクルルート「浜サイ」は、新地町からいわき市までの約180kmを結ぶサイクリングルートです。

復興が進むふくしま浜通りを舞台に、美しい景色や地域の魅力を楽しみながら、東日本大震災・原発事故からの復興の歩みを「見て」、未来に向かって挑戦し続ける人々の想いを「聞いて」、自分事として「考える」ホープツーリズムを体感しながらサイクリングを楽しむことができます。

ぜひ「浜サイ」を走りながら、ふくしま浜通りの今と魅力を感じてみてください。

問い合わせ　ふくしま浜通りサイクルルート推進協議会（事務局：福島県観光交流課）
☎024-521-8734

ホームページ

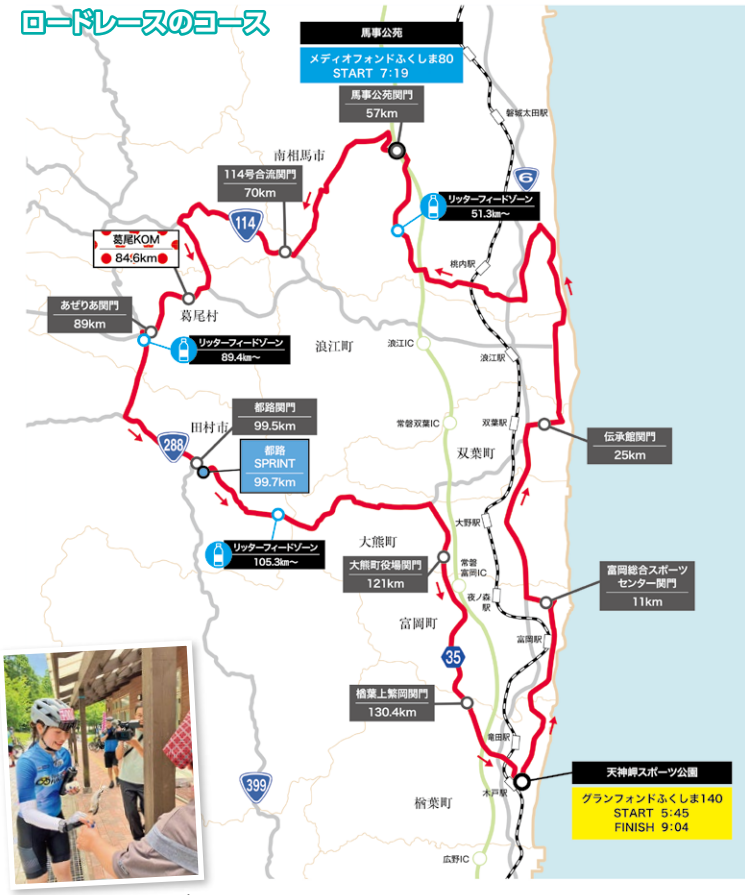
ツール・ド・ふくしま2026を開催しました

福島民報社と一般社団法人みんぽうスポーツ・文化コミッションは、福島県浜通りなど広域を舞台とする自転車ロードレースとサイクリングイベント「ツール・ド・ふくしま2026」を、6月13日（土）・14日（日）の2日間にわたり開催しました。国内外から約2,400人が参加し、大きな盛り上がりを見せました。

「ツール・ド・ふくしま」は、東日本大震災からの復興が進む被災地の姿を全国、そして世界へ発信することを目的に2023年に誕生し、今年で4回目の開催となりました。2026年大会のロードレースは、国際自転車競技連合（UCI）公認の「UCIグランフォンドワールドシリーズ（UGFWS）」として開催されました。

サイクリングイベントの参加者は、復興の歩みに理解を深め、各エイドステーションでは福島の食の魅力を満喫しました。

ロードレースのコース



岩魚塩焼きのふるまいを受け取るサイクリングの参加者

ロードレースの参加者

ロードレースの参加者

記念撮影するロードレースの各カテゴリーの優勝者

開催の様子が分かるダイジェスト動画はこちら

田村市 都路町複合商業施設「コ・ラッシェ都路」1周年記念祭

震災後、避難地区として復興を進めてきた都路に、復興の拠点となる施設「コ・ラッシェ都路」がオープン。地域のにぎわい創出と交流を目的に、1周年記念祭を開催します。

時 12/20
所 田村市都路町岩井沢字中作14-1
問 田村市商工課　☎0247-82-6677

川俣町 「とんやの郷」秋のイベント とんや祭を開催

山木屋八坂神社三匹獅子舞や山木屋太鼓などによるステージイベントのほか、地元産食材や花き等の販売ブースも設けられ、山木屋の美しい風景のもと、伝統芸能の魅力や豊かな自然の恵みをお楽しみいただけます。

時 10/4　10:00 ～ 15:00（予定）
所 とんやの郷（川俣町山木屋字日向40-1）
問 山木屋地区復興拠点商業施設（とんやの郷）　☎024-563-2021

広野町 「みかんの丘」から眺める海とみかん畑の美しい景色をぜひ！

温暖な気候を生かして広野町ではみかんを大切に育てています。広野町役場からほど近い高台に位置し、太平洋を見渡せる「みかんの丘」には、展望台やみかん畑が整備されており、オレンジ色の実がなる時期には、青い海とみかん畑の美しい景色が広がります。みかんを使用した産品も町内で販売しております。この機会にぜひ、お越しください。

所 みかんの丘（広野町役場近く）
問 広野町農業振興課　☎0240-27-4163

飯舘村 ジャパン・フード・セレクションでグランプリを受賞！

第97回ジャパン・フード・セレクションで、飯舘村から4事業者6商品がグランプリを受賞しました。つくり手が「までい」の心を込めて、村の豊かな自然が育んだ農畜産物を生かし、魅力あふれるさまざまな特産品を一つひとつ丁寧に作り上げています。飯舘村にお越しの際は、ぜひ道の駅などで手に取り、村が誇る豊かな自然の恵みと味わいをお楽しみください。それぞれの商品は、飯舘村の広報誌「広報いいたて4月号」に掲載しています。

全国避難者情報システム等への避難情報の届出のお願い

避難情報に変更（転居や帰還など）がありましたら、避難先の市区町村へ「全国避難者情報システム」への届出をお願いします。**届け出た所在地宛てに、福島県や避難元市町村からのお知らせなどを送付できるようになります。**

併せて、13指定市町村(※)から避難されている方は、原発避難者特例法に基づく届出も避難元市町村宛てにご連絡いただくようお願いします。**避難先においても一定の行政サービスを受けることができるようになります。**

13指定市町村(※)	いわき市、田村市、南相馬市、川俣町、広野町、楢葉町、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町、川内村、葛尾村、飯舘村

問い合わせ　福島県避難者生活支援課　☎024-523-4250

全国避難者情報システムへの届出

❶避難先の変更がある場合（転居など）
現在お住まいの避難先市区町村及び転居後の避難先市区町村の双方へ届出

❷避難を終了する場合（帰還・定住など）
現在お住まいの避難先市区町村へ届出

原発避難者特例法に基づく届出

13指定市町村から避難されている方で、避難情報に変更がある場合、避難元市町村へ届出

ふるさとに帰還した人、まちに移住してきた人の「いま」をご紹介します。

第50回 ふくしま VOICE 双葉町

インタビューの様子はYouTube動画でも配信しています。
右の二次元コードからご覧ください。

2020年に復活した町民に愛されるお店「ペンギン」をご紹介！

「お客さまの好みに合う1本を提供したいです」と川崎さん。

FUTATABI FUTABA FUKUSHIMA

●F&B Service　川崎（かわさき） 健悟（けんご）さん

「また来たい」と思える、上質なおもてなしを目指して

2026年6月に双葉町にできたホテル「FUTATABI FUTABA FUKUSHIMA」の飲食部門で働く川崎健悟さんは南相馬市小高区出身。震災当時は高校2年生で自宅は避難区域となり、父の実家である岩手県、その後二本松市に避難しました。高校卒業後は上京し、さまざまな職業を経験しました。「いつか相双地域の復興に貢献したいという思いがずっとあったので、ホテルができると知り、応募しました」と川崎さん。現在はレストランでの案内や料理・ドリンク提供などの業務を中心に行っています。ホテルのコンセプトは、日常から離れ、心身をリフレッシュすること。「そのために、お客さまが何を求めているのかを考えながら接客しています。帰る際に『楽しかった。ありがとう』と言ってもらえる瞬間が一番うれしいですね」と笑います。現在はより質の高いサービスを提供したいと、ソムリエの資格取得にも挑戦中です。「相双地域は温かい人が多いとお客さまから言ってもらえることが多くて。その方が求めるサービスの提供を通して『また来たいな』と思ってもらえるように頑張ります」と抱負を語ってくれました。

※FUTATABI FUTABA FUKUSHIMAに隣接している東日本大震災・原子力災害伝承館は8月12日に来場者数50万人を突破しました。

読者アンケート

お答えいただいた方に抽選で、福島県の素敵な特産品をプレゼント！

郵便はがきもしくは、福島県避難者生活支援課へのメールに❶～❸の必要事項をご記入の上、お送りください。

アンケート

- 福島で印象に残っている、参加したいお祭りやイベントは何ですか。
- 浜通りに対する思いや今の浜通りに対する印象を教えてください。

応募締切　2026年10月23日（金）

※当日消印有効　※個人情報は賞品の発送にのみ使用します。
※アンケートの回答は紙面で紹介させていただく場合があります。

〈郵便はがきでの応募の場合〉

960-8670
福島県庁 避難者生活支援課「ふくしまの今が分かる新聞」係

❶アンケート回答
❷記事の感想、今後取り上げてほしい情報、紙面や県政へのご意見
❸住所・氏名・年齢・電話番号

〈メールでの応募の場合〉
二次元コードを読み込むか下記のアドレスを打ち込み、❶～❸の必要事項をご記入の上送信してください。

hinanshashien@pref.fukushima.lg.jp

＼抽選で10名様／

みかんサイダー

広野町振興公社（広野町）

広野町特産のミカンを使い、福島県立小名浜海星高校の生徒たちが開発しました。地域への想いが詰まった、爽やかな味わいのサイダーです。

ふくしまがもっと分かる　バックナンバーもチェック！　福島　今が分かる新聞　検索

発行／福島県庁 避難者生活支援課　TEL 024-523-4250